

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

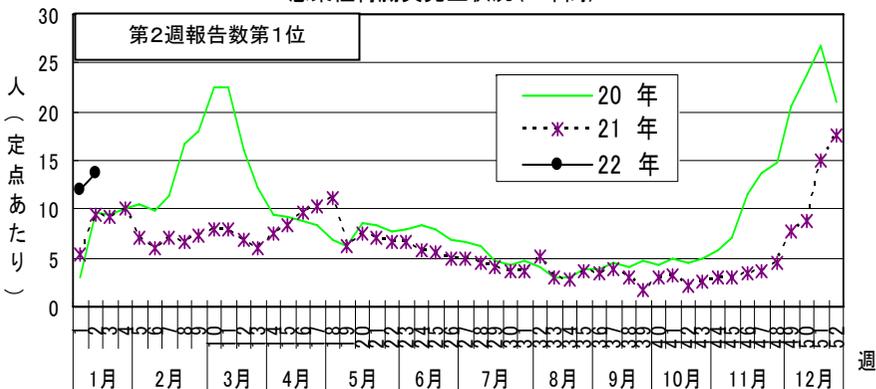


KAWASAKI CITY

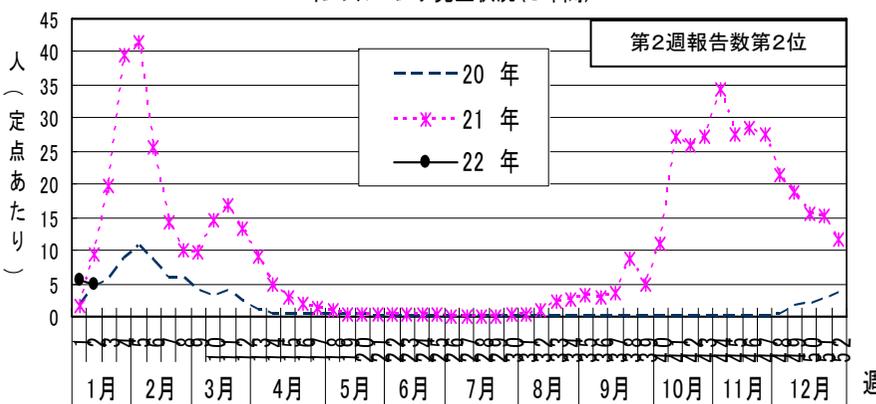
## 平成22年1月11日（月）～1月17日（日）〔平成22年第2週〕の感染症発生状況

第2週で報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) インフルエンザ 3) 水痘となっています。感染性胃腸炎が定点あたり13.63人と患者報告数が増加しており、第1週及び第2週いずれの報告数も、過去10年間と比較して最も多い報告数となっておりますので今後の発生動向に注意が必要です。インフルエンザは、定点あたり4.72で前週と比較して減少しました。インフルエンザの警報継続基準値である定点あたり10人を下回りましたので、平成21年11月4日に発令した流行発生警報は、平成22年1月14日付けで解除しました。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



インフルエンザ発生状況(3年間)



## 感染性胃腸炎対策～手洗い・うがいの徹底～

感染性胃腸炎はウイルスや細菌が原因で起こり、主に下痢や嘔吐などの症状がでます。秋から冬にかけて流行するものはほとんどウイルスによって起こり、特にこれからの時期はノロウイルスによるものが増えます。また、平成21年12月7日から神奈川県内に「ノロウイルス食中毒警報情報」が発令されました。感染性胃腸炎にかからないために、今から対策を徹底しましょう。

### 主な原因ウイルス

#### ロタウイルスによるもの

2歳以下の乳幼児に感染しやすく、便が白色の水様便になることから白色便性下痢症とも呼ばれています。

#### ノロウイルスによるもの

貝類等の生食により感染する事例が多く、主に吐き気、嘔吐があり、下痢、腹痛なども伴います。

### 感染経路

感染性胃腸炎は、患者の便や汚物などの排泄物やそれに汚染された手指、水、食品などを介して経口感染します。また、ウイルス性の胃腸炎では、便や汚物が乾燥して舞い上がったものが口に入ることによって感染することもあります。

### 感染予防方法

手洗い・うがいが基本です。その他に、患者さんの便や嘔吐物は乾燥しないうちに早めに片付け、必要に応じて家庭用塩素系漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム）などで消毒してください。

### かかってしまったら…

体内の水分を多く失いますので、水分補給はこまめに行いましょう。水分を受け付けないときは、なるべく医療機関を受診しましょう。特に、乳幼児や高齢者は脱水症状になりやすいので注意が必要です。

### ～餅つき大会でノロウイルス～

今月、東京都の幼稚園で行われた餅つき大会で、ノロウイルスの集団食中毒が発生しました。餅つきや調理を素手で行っており、その際にノロウイルスが餅に付着したとみられています。

ノロウイルスは、とても感染力の強いウイルスです。ごく少量の数であっても、体内に侵入すると感染をおこしてしまいます。

食品に付着しないように手洗いを徹底しましょう。

